

## 主要地方道大船渡広田陸前高田線「船河原地区」竣工

大船渡地方振興局土木部



平成11年度に事業に着手した、大船渡市末崎町の主要地方道大船渡広田陸前高田線船河原地区がこのたび竣工し、碓石海岸方面へのアクセスが大変良くなりました。

### 《路線と工区の概要》

船河原地区は大船渡と広田・碓石海岸方面を結ぶ大船渡側の起点にあたります。

この付近は三陸縦貫自動車道大船渡碓石海岸インターチェンジが開設されるなど、大船渡市の

南側の玄関口として、また、碓石海岸などの観光地への入り口です。

今までの県道は、古く国道45号線として開設された路線で、幅員が狭く、大型車の通行が困難で、朝夕は渋滞が発生していました。

そこで、平成11年度よりこの狭窄箇所1,200mの改良を目的として事業が開始されました。

### 《地域との協働によるヤブツバキによる法面緑化の試験》

大船渡市はヤブツバキの太平洋側の北限とも言われており、いたるところに自生している椿を見ることが出来ます。

船河原では道路の法面保護に使用する植生基材に、このヤブツバキの種を試験的に混ぜて吹き付けを行いました。この種は椿に関する地域文化を保存することを目的としている市民団体、「椿の実でまちづくり実行委員会」が市民と集めたものです。



ヤブツバキは地上部の成長がゆっくりとしており、根が強固で、寿命が非常に長く、地域の在来種であることから、道路の法面の安定を図るには理想的な植物と考えられますが、今まで法面に使用した事例が無かったことから、知見がほとんど無く、並行してヤブツバキの特性に関する試験、調査を行っています。

船河原では順調に進めば、春には発芽し、7～8年後には開花をはじめると見込まれます。



竣工式の様子



工事起点からの眺め